

1 ご自宅の免震性・耐震性・耐火性は十分ですか？。

- ・ 免震性・耐震性・耐火性に優れた住宅ですか？ブロック塀等は大丈夫ですか？。
- ・ 耐震診断や、必要に応じて耐震補強を実施しましたか？
- ・ 家具の固定や、配置の工夫を行っていますか？（必須項目1です。）
- ・ 地震の揺れを感知して電気を自動的に止める「感震ブレーカー」設置（必須項目2です。）

<被災前に活用できる制度>

・住宅の耐震化に関する補助(耐震診断等)・地震保険料控除制度

2 生活再建に必要なお金を知ろう！。

- ・ 万が一の為に、保険・共済に入っていて住宅再建の目途は付けていますか？
- ・ 住宅が被害を受けた場合に使える公的な支援制度もありますがご存知ですか？
- ・ 生活の再建には家財の再取得も必要ですが準備されてますか？

3 我が家が大きな地震に襲われる可能性ってどれくらいあるの？。

- ・ ご自宅の地震リスクがわからないという場合には、防災科学技術研究所の「J-SHIS Map」をご活用。住所を入力するだけで、その地点の地震リスクが表示されます。

<http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/>

4 災害への備え 普段からの準備が大切です。

- ・ 持ち出し品を準備しておく(必須項目3です。)
笛、飲料水、非常食、軍手、常備薬、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、洗面用具、乳幼児がいる方は哺乳瓶や紙おむつ等をあらかじめリュックサックに入れておく等、貴重品と併せて持ち出せるように準備しておきましょう(玄関ホール・自家用車内。)

5 非常時のために食料や物資を備蓄しておく。

- ・ 各家庭で最低7日間過ごせるよう、飲料水(一人1日3リットル)、食料、液体ミルク等を備蓄。保存期間の長い食料を多めに買う。期限の近いものから消費、使った分を買い足す「ローリング・ストック方式」を実施。カセットコンロや下着、トイレトーパー、携帯トイレ等も備蓄する(必須項目4です。)

※ に問題なしは、✓を入れる。問題有りは早めに解決する努力が必要です。